

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA		THE YS MENS CLUB OF ATSUGI
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED IN 2004		4 - 1 6 - 1 9 NAKACHO AT SUGI
		KANAGAWA JAPAN 〒 2 4 3 - 0 0 1 8
		TEL 046(223)1441 担当主事 吉永貴弘

2013年10月 会報 厚木ワイズメンズクラブ 第110号

万年クラブ会長	ささやかな祈りがあるとすれば、自分以外の周囲に心を寄せる
主 池田湘南・沖縄部部长	みんなで楽しく奉仕
渡辺東日本区理事	いざ立て
題 アジア地域会長	未来を始めよう、今すぐに
国際会長	全ての世界へ出て行こう

10月強調月間 (ユース、EMC-EM)

神の栄光にあずかる希望を誇りにしています。そればかりでなく、苦難をも誇りとしています。わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。

ローマの信徒への手紙 5章 2～4節 選者 徳沢洋子

9月例会報告

卓話 横浜クラブ 今村 讚さん



いつお会いしても明るく若々しい今村さんの胸中を離れることのない「教会と国家」についてのお考えについては伺っておりましたが、今回まとまった形でお聞きすることができました。

わたしは83歳、1930年に熱心なキリスト教徒の両親のもとで生を享け、戦前、戦中、戦後の激動時代をいきてきました。

小学校時代、先生から授業中に「お前の両親はキリスト教徒？アーメンソーメン」と侮辱的な言葉をかけられたことがあった。

教会には警官、憲兵、特高が礼拝時に来ては牧師の説教に不具合はないか耳をそばだてていました。キリスト教は敵国からの宗教、油断はならぬという厳しい雰囲気でした。

巷も似たようなもので、キリスト教徒を白眼視する人が多かったように記憶しています。

そんななか、教会は乏しい資金の中から戦勝を祈っ

て、戦闘機を2機献納するは、優秀な学生は陸海軍の学校に入学するなど、戦争に協力しました。

明治維新以来国は欧米諸国に伍すため錦旗のみ旗の下、天皇を崇拜し、富国強兵、桜花の散ることと、天皇のため散るのは最高の善であることあるごとに教えてきた訳でキリスト教徒といえどもそれを超えることは至難に近かった。自分たちにしてみれば、言われなきことで、いろいろひどい目にあつたが、歯を食いしばり信仰を貫いてきた。

それが戦後になって、戦争中の迫害も知らぬ者たちから、戦争責任がやかましく言われるようになった。

わたしには納得のいかぬところが多々ある。未だ教会は二派に分かれて論争している。キリストの教えを、国家を上回る権威として理解するか、自己の信仰を私的領域に限って魂の平安をうることと理解するかである。戦前、戦中、戦後を通じて後者がほとんどである。わたしは国家、政治、社会問題を教会に持ち込むことには絶対反対である。

(文責 田口)

例会データ	9月	在籍会員 18人
会 員	13人	メイキャッツプ済み
ビジター	5人	出席率
ゲ ス ト	人	
合 計	18人	72%

例会のご案内	会 長 万年 孝助
原則として第4水曜日18時半から2時間	副会長 石井 芳隆
お問い合わせ先	副会長 谷口 四郎
Tel 046-223-1441 吉永貴弘	副会長 田中 勝子
	書 記 千葉 裕子
	会 計 岩淵 正弘

「2013 年度前期 日本語スピーチ発表会」

YMCA健康福祉専門学校

日本語学科 平嶋 優子



9月17日・18日に日本語学科のスピーチ発表会を行いました。スピーチ発表会は半年に一度行われ、初級～上級クラスまで日本語学科の学生全員が半年の学びの成果を発表する場となっています。

テーマは自由で、今年は「わたしのじんせい!!」「わたしと日本のアニメ」「日本の生活で困っていること」「わたしの国」など自分の伝えたいことを自分の言葉で話しました。

昨年10月入学のベトナムから来たリンさんは日本の女子高生のスカートが短いことに驚き、日本人は昔から着物を着て体を見せない文化だと思っていたが、親は怒らないのだろうかなど「日本へ来てびっくりしたこと」をテーマに話しました。ベトナムの高校の制服であるアオザイを着ての発表にみんな聞き入っていました。

また、台湾の洪偉軒さんは「知らないことはあかん、知ることによってお互いに理解できるようになるやろ!」というテーマで、今後のYMCAでの日本語学科、日本人学生との交流プランについて話し、みんなに協力を呼びかけました。

今回はお忙しい中、ワイズメンズクラブの皆さんにもお越しいただき、学生の励みとなりました。心から感謝申し上げます。

2日目の日本語スピーチ発表会に出席して

田口 堅吉

万年会長、森田さんが第1日目、佐藤節子さんと私が二日目と二日間の発表会に手分けして出席しました。2日目は在学1年、または半年の学生さんたちが主の発表会でした。スリランカ、ベトナム、タイ、台湾、モンゴル、中国(?)などからこられた方々で、発表者の20人のみなさんスピーチがお上手でびっくりしました。毎日大体3時間くらい住まいに帰っても練習しているということでしたが、生徒さんたちの努力、プラス厚木YMCAの日本語学科の先生たちの熱心な教育による成果だと思いました。

私どものクラブでは、日本語学科の昨年のスピーチ記録集で学生さんたちの厳しい留學生活の現実を知り、少

しでも楽しく過ごしてもらおうと2～3の催しをしたりして試行錯誤を繰り返していますが、まだまだ核心に触れるところまで至っておらず、学生さんたちの心に響くような企画をたちあげたいとみんなでいろいろ検討している最中です。



そんなわけで、この発表会でも何かヒントが捕まえられるかと真剣に聞きました。

お一人から「鎌倉」と題するスピーチで鎌倉に行ったことはないけれども、ぜひ行ってみたいという希望が聞けました。またもうひとりのスリランカの女子学生さんからは、自分の国は大変美しく、食べものは美味しく、住む人はとても親切だから、日本語を習得して帰国した暁には、ツーリストとして日本からのお客さんと呼ばれたい、そのためには日本の観光名所にも行っていろいろ学びたいとのことでした。

ほかの学生さんたちについても、日本に留学して、日本の名所を見ることもなく帰国されるのはもったいない話で、私どもとしても東京近郊の名だたるところくらいは案内できないものかという思いがしてきました。

とても素敵な発表会でした。来年はもっと多くの方々にぜひ聴いていただきたいという佐藤さんのご感想、私も全く同感です。

10月活動予定

10月 1日(火) 区大会準備打ち合わせ会

19時から厚木YMCAにて、ぜひ一人でも多くご参加ください

10月 5日(土) 湘南・沖繩部部会

横浜ワークピアにて

10月12日(土) 厚木クラブ第2例会

チャリテーランその他打ち合わせ

10月19日(土) チャリテーラン

雨天の時は翌日曜に順延

10月22日(火) うたごえひろば

13時半から「おしゃべりコーナー」
14時から15時半までうたごえひろば
最近盛会です、ご参加ください。

10月23日(水) 厚木クラブ本例会

卓話 転入会の北村さんのおはなし